

大会に際してのご注意とお願い

茨城マスターズ陸上競技連盟
Rev.20251019a1

1、感染症や新型コロナ感染への対応について

以前のような**体調管理チェックシート**の提出は**必要ありません**ので
自己管理をお願いします。

また、**選手の家族や同行の方もチェックシートなしでの観覧が可能です。**

2、当日の注意

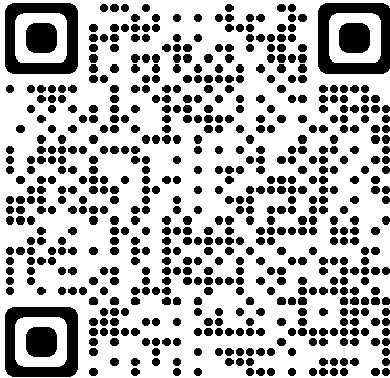
- ①競技場での**マスクの着用は自己判断**をお願いします。
- ②3密(密閉、密集、密接)は**極力避けて**ください。
- ③競技後は手洗い、うがいを心掛けてください。
- ④詳細な注意事項は別紙「参加上の注意事項」を参照ください。

3、その他

- ①**暑さ、寒さ、降雨などへの備え**をしてください。
- ②滑り止め用の炭酸マグネシウム粉や手拭きが必要な場合は**各自でご用意**ください。
- ③体調に異常があった場合は、係員にお申し出ください。
- ④詳しくは下記HPからもご覧できます。

URL

<http://ibarakimas.g2.xrea.com/>



本連盟主催大会では、(公財)日本陸上競技連盟の「陸上競技活動再開についてのガイダンス」および(一財)茨城陸上競技協会からの「競技開催の事務連絡」に準拠し競技会運営を行います。

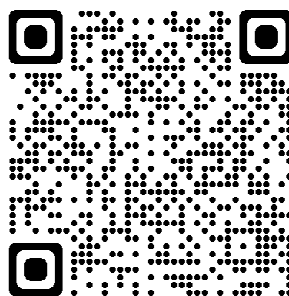
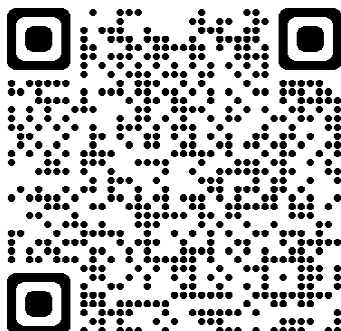
1.一般的な注意

- ・新型コロナウイルス感染防止の為、用器具を扱う付近にアルコール消毒液を配置しますので各自でご利用ください。
 - ・撮影については、主催者より許可を得た人以外は競技場内での撮影は禁止します。
- 2.本大会は、**2025年度**日本陸上競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。
・トラック競技のスタート時のコールは、イングリッシュ・コール(「On your marks」・「Set」)で行う。
- 3.種目によってはエントリー数の関係で異なる年齢クラスや男女で同時スタートの場合がある。
- 4.招集所は、100mスタート側第1ゲートの内側付近に設ける。
- 5.招集(コール)は次の通りとする。
・コールは、本人が招集開始時刻から招集完了時刻までに、招集所にてアスリートビブス・腰ナンバーのチェックを受ける。(腰ナンバーは大会本部指定のものを受け取り、折り曲げずに右腰やや後方に着ける)
・チェックを受けた後、各自で競技場へ移動する。
・招集所にスタートリストは掲示しない為、招集係の人が受け付けチェックをする。
・選手はユニフォームを着用して、コールを受けること。
・招集所完了時刻までに、チェックを受けない競技者は棄権とみなし、競技会への出場は認めない。
- 6.**マスクの着用は任意**としますが、競技後には手洗い・うがい・洗顔などを心掛けてください。
- 7.選手の入退場は100mスタート側第1ゲートのみとし、競技終了後(ゴール後)は、バックストレート側を通り第1ゲートより退場する。
- 8.規定外シューズ(800m以上の種目)の取扱いについて
WA規則第143条(TR5:シューズ)により、ソールの最大の厚さが25mmを超えるシューズは使用できない。
- 9.本競技会における**距離を競う跳躍競技における試技回数は3回とする**。
また、高さを競う跳躍(走高跳など)の練習/最初の試技の高さについては、競技役員の指示に従うこと。
(種別、天候などによって変更する場合がある)バーの上げ方は、HJ:5cm、PV:10cmきざみとする。
尚、1位決定後は、希望する高さを審判に申告する事ができる。
- 10.フィールド競技における留意事項について
・フィールド競技の試技時間は1分とする。(2019年規則改正)
・**高さを競う競技で3人以上の競技者がいる場合の試技時間はHJ:30秒、PV:1分とする。(2022年規則改正)**
- 11.受付で**貸与された**「アスリートビブス(ナンバーカード)」(胸と背及び腰)は、競技終了後、外して係員に戻すこと。
- 12.**投てき五種は日没回避の為、1組目と2組目に分け異なる種目の同時進行とします。**
投てき競技は参加者が多く日没回避の為、練習は1回、試技は2回とする。
- 13.競技中は本部席や記録室には、競技役員以外入らないこと。
- 14.その他
・競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うが、それ以降の責任は負わない。
・保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。ただし、新型コロナウイルス感染症には適用外である。
本大会において感染が確認された場合でも、主催者としていかなる責任も負うことは出来ません。
- 15.今大会は携帯・スマートフォン・パソコンから記録速報がご覧頂ける予定です。
下記QRコードを読み込んで戴くか、URLを直接入力し「茨城マスタースHP」よりご覧ください。

QRコード

URL

<http://ibarakimas.g2.xrea.com/>



救護・応急処置に関する事項

1. 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は、近くの競技役員に申し出て救護室を利用してください。
2. 競技会当日の競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者側が行いますが、以降の責任はおりません。

大会緊急時及び安全対策に関する事項

1. 自然災害に対する対応

① 荒天時(大雨・暴風警報等)

避難が必要な場合、場内アナウンスや係員の誘導に従い、安全な場所へ速やかに移動する。

② 火災

- a. 第一発見者は、大声で周囲の人に呼びかけ、非常ベルを押す。
- b. 大会本部に通報する。
- c. 場内アナウンスや係員の誘導に従い、慌てずに避難場所へ移動する。

③ 地震

大揺れの最中(発生から30秒～1分)

- a. 身の安全を図る為頭部・首を持ち物(バッグ)や衣類等で保護する。
- b. 危険な場所(窓ガラス付近)にいる場合は、安全な場所に移動する。
- c. 安全な場所にいる場合は、その場を動かない。

大揺れおさまる

- a. 余震や出火の危険もあり、混乱を避けるため、危険な場所にいる場合以外は場内アナウンスや係員の指示があるまでは、その場を動かない。
- b. 負傷者を発見した場合は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。
- c. 避難が必要な場合は、場内アナウンスや係員の誘導に従い慌てずに避難場所へ移動する。

2. 不審者・不審物に対する対応

① 不審者による危機発生時の緊急対応

- a. 第1発見者は、近くの大会関係者や大会本部に通報する。

② 不審物に対する対応

- a. 不審物を発見した場合は、「触れず・動かさず・近づかず」に直ちに近くの大会関係者や大会本部に通報する。
- b. 場内アナウンスによる避難指示があった場合は、速やかに従う。

会場の配置と動線

Rev.20251019a1

茨城マスターズ陸上競技連盟

各担当の注意点

受付係:選手・役員・審判・補助員とも出欠確認のうえ入場させる。

招集所:コール用ゲラ3枚へのチェックマークは選手ではなく選手係がおこなう。
トラック競技者には腰ナンバーと安全ピンを配布し、
ゴール後に回収する旨を伝える。――>選手係が回収する。

表彰係:記録証、メダル、賞状などは選手が探すのではなく表彰係が手渡す。
授与する際はビブスを確認し、授与済みのチェック記録を保管する。

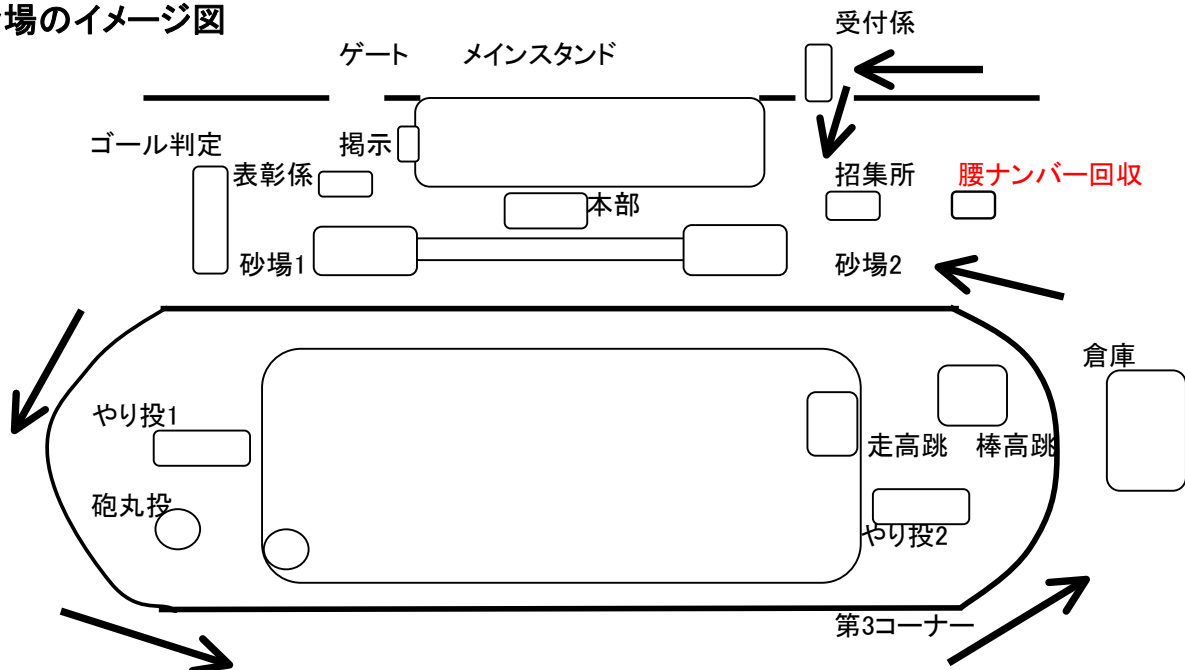
記録係:HPに速報をアップした後に結果掲示をする。
(HPにアクセスできない人の為に結果掲示もおこなう)

ゴール側ゲート:役員の機材運搬に利用するので通行注意のこと。

選手の動線:トラックレースにおいてはゴール後は矢印方向に進ませる。
砂場を使用する競技には適用しない。

消毒液:スタートブロックを使用するスタート地点、投てきピット、腰ナンバー回収地点など
特に用器具に接触しやすい地点に配備する。

会場のイメージ図



マスタース大会におけるハードル設置資料
2025.10.19の第26回茨城マ選手権用

Rev.20251019a1

○: 走者レーン
▲▼: 予備レーン

H***: ハードルの高さ

種目	組	レーン								ハードル設置箇所
		1	2	3	4	5	6	7	8	
400mH	1組			~M45 ○	H0.914m ○		○	M50,M55 ○	H0.840m	一般400mHと同じ位置に10台
300mH	1組					M65 ○	H0.762m ○	W60	H0.686m ○	一般400mHと同じ位置に7台
110mH	1組		M35~M45 ○	H0.991m ○	○					一般110mHと同じ位置に10台
100mH	1組					M50,M55 ○	H0.914m ○			一般女子100mHと同じ位置に10台
								M60,M65 ○	H0.840m ○	①白△マークに10台
80mH	1組					M70,M75 ○	H0.762m ○	W60 ▲	H0.686m ○	②緑△マークに8台

- 備考
- ①②③は8レーン外側にペイントでマークが付いている。
 - 上記以外は8レーン外側や1レーン内側にプレートが埋め込まれている。
 - 高さ0.686mのハードルは小学生基準0.7mを使用する。
 - ハードル高さは調整レバーにより最下段から順に(0.762m)(0.840m)(0.914m)(0.991m)(1.067m)に設定可能です。